

神戸市会だより

2025年
5月
No.225

ホームページでは神戸市会の最新情報をご覧ください。

神戸市会 | 検索

広報紙KOBÉより抜き出してお読みください。

令和7年度 予算を可決 しました

2月18日、2025年第1回定例会市会を開会しました。
会期は6月10日までの113日間です。2月議会（2月18日～3月28日）では令和7年度予算および関連議案を中心に審議しました。

（市長提出96件、議員提出5件、合計101件）

2月18日の本会議において、久元市長および関係局長から令和7年度予算および関連議案について説明を受けました。2月25日・26日には各会派の代表者が質疑を行いました。その後、予算特別委員会を設置、局別に審査を行いました（主な内容は2～4面をご覧ください）。審査の結果、2月議会では、継続審査となった議員提出議案1件を除く100件を可決しました。

2025年 第1回定例会市会【2月議会】の動き

2/18	本会議	○ 開会 ○ 議会の委任に基づく市長専決処分などの報告 ○ 会期決定 ○ 令和7年度当初予算などの議案の提案 ○ 令和6年度補正予算などの議案の提案・質疑
2/19・20	常任委員会	○ 令和6年度補正予算などの議案および請願・陳情の審査
2/25・26	本会議	○ 令和6年度補正予算などの議案の採決 ○ 議員提出議案の提案・採決 ○ 令和7年度予算および関連議案に対する会派代表の質疑 ○ 予算特別委員会設置
2/27～3/17	予算特別委員会	○ 令和7年度予算および関連議案、陳情の審査
3/19	本会議	○ 令和6年度補正予算などの議案の追加提案
3/21・24	常任委員会	○ 令和6年度補正予算などの議案および請願・陳情の審査
3/27	本会議	○ 人事案件の提案・採決 ○ 令和6年度補正予算などの議案の採決 ○ 令和7年度予算および関連議案の討論・採決 ○ 請願の討論・採決 ○ 議員提出議案の提案・採決
3/28	本会議	○ 一般質問

後半の**5月議会**は令和7年5月26日（月）から6月10日（火）までの予定です。
詳細は市会ホームページをご確認ください。→



議決した主な議案

令和7年度当初予算

一般会計、特別会計、公営企業会計の総額2兆331億円で、いずれも原案どおり可決されました。令和7年度予算は、全国的な少子・高齢化に伴う人口の自然減が加速する中、オールタウン化の進行や都市のスポンジ化に対応するなど、人口減少時代にふさわしいまちづくりを目指す予算となっています。

令和6年度補正予算

震災30年を踏まえた災害に強いまちづくりや、神戸空港の国際化への対応、物価高騰などの影響を受ける市民・市内事業者への支援を着実に進めるとともに、森林・里山の再生など、暮らしの質・都市の価値を高める施策を進めます。

議員提出議案

●神戸市議会基本条例の一部を改正する条例

議会の主権者教育にかかる取り組みを定めるにあたり、条例を改正しました。

●意見書の提出

「北朝鮮によって拉致されている神戸市民をはじめ全ての日本人の速やかな救出を求める意見書」を可決し国に提出しました。

人事案件

神戸市教育委員会委員（1名）の任命や神戸市固定資産評価審査委員会委員（1名）の選任に同意しました。

令和7年度予算に対する各会派の賛否一覧

○＝賛成 ×＝反対

件名	自	維	公	共	こ	つ	新	無 平野章	無 上原	無 村上	結果
市場/食肉センター/母子父子寡婦福祉資金貸付/公債/工業用水道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
一般会計/国民健康保険	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	可決
駐車場/市街地再開発/市営住宅/介護保険/後期高齢者医療/空港整備/下水道/産業団地整備/港湾/自動車/高速鉄道/水道	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決

会派届出名の略称 自 自由民主党 維 日本維新の会 公 公明党 共 日本共産党 こ こうべ未来 つ つなぐ 新 新しい自民党 無 無所属

本会議での各会派の代表質疑から

2月25日・26日の本会議では、令和7年度当初予算とそれに関する議案について、市長・副市長などに質疑しました。その主な内容をご紹介します。

議員名（会派届出名の略称、選挙区）

録画映像は神戸市会ホームページでご覧いただけます。

神戸市会 中継 | 検索



2月25日

2月26日

まち・くらし

2月25日の代表質疑から

路上喫煙対策の強化

Q 健康面でより安全・安心なまちづくりを進めるには、さらなる分煙の徹底が重要である。三宮・元町や六甲道駅周辺を路上喫煙禁止地区に指定し、指導員の巡回や過料徴収を実施しているが、規制エリアは限定的であり、喫煙所の設置拡大と併せて、禁止地区の拡大も検討が必要ではないか。

かわなみ ただかず
河南 忠和 議員
(自由民主党/中央区)



A 過料徴収という厳しい対策を行っているにもかかわらず、喫煙場所が十分に確保されていない現状の改善に注力しているところ。直ちに規制エリアを拡大するのではなく、広報啓発や通勤時間帯の警察OBによる指導、民間啓発員による注意・指導を的確、効果的に行っていく。

2月25日の代表質疑から

災害対応力の向上

Q 阪神・淡路大震災では避難所で体調を崩し亡くなった方も多くいた。冬季・夏季の過酷な環境で宿泊を伴う実践的な避難訓練を実施することで、さまざまな課題が浮き彫りとなり、災害時の対応力強化につながることから、神戸市でも宿泊訓練を実施すべきと考えるがどうか。

いwasaki
岩佐 けんや 議員
(公明党/東灘区)



A 本市では、厳冬期ではないものの、防災福祉コミュニティを中心に、小学校を活用して宿泊訓練を実施したところもある。宿泊も含め、災害時を想定した実践的な訓練を実施することで対応力の強化を図ることは重要であり、より実践的な訓練の実施について、地域と相談しながら検討していきたい。

2月26日の代表質疑から

既成市街地・ニュータウンの再生

Q 予算案には、まちの再生に関する具体的施策がなく、都心などへの大型投資に偏重している。また、神戸空港が大赤字の上に成り立っていることを反省することなく、新都市整備事業（※1）会計の廃止に伴う財産を空港の借金返済に流用しようとしている。ニュータウンなどが直面する課題解決にこそ活用すべきではないか。

まえだ
前田 あきら 議員
(日本共産党/須磨区)



A 都心三宮の再整備や駅周辺のリノベーションを進めつつ、郊外の駅から離れた住宅地でも、安心して住み続けられるまちづくりに引き続き取り組んでいきたい。なお、新都市整備事業会計の資金は、今後の財政負担軽減のため、公債費の繰上償還に活用する。

2月26日の代表質疑から

非核神戸方式

Q 1975年3月18日、神戸市会で核兵器搭載艦艇の神戸港入港拒否に関する決議が行われ、いわゆる非核神戸方式が誕生してから50年という節目の年である。これまで市長は、神戸市会の決議を尊重し、事務を進めていくとの答弁を行ってきた。国是（※2）である非核3原則を具現化した非核神戸方式を、引き続き、守り続けていくべきと考えるが、歴代市長の答弁と現在の方針に変わりはないか、伺いたい。

とみお
あわはら 富夫 議員
(つなぐ/中央区)



A 従来の考え方を変えるつもりはない。議員の指摘により、本市が港湾管理者としての役割をしっかりと果たしていかなければならないということを改めて認識した。

教育・こども

2月25日の代表質疑から

部活動の地域移行 「KOBE◆KATSU (コベカツ)」

Q 2025年4月に入学する生徒は、1年半後のコベカツクラブへの移行を見据えながら部活動を決めることになるが、不安が先行している。移行後のモデル的な中学生の生活サイクル、目指すべきコベカツクラブ数とエリア分布、公平な機会提供、教員の主体的かつ柔軟な参画について伺いたい。

よしだ けんご
吉田 健吾 議員
(自由民主党/灘区)



A 教員の協力は不可欠である。生徒の過ごし方の多様化が進む中、不安定化への懸念に対して教員がしっかり支援していきたい。主要な活動の継続は在籍校または近隣校で可能になるよう調整し、家庭の経済事情により選択肢が大幅に制限されないよう検討を進めたい。

2月25日の代表質疑から

部活動の地域移行 「KOBE◆KATSU (コベカツ)」

Q 保護者や担い手となる団体からは、送迎、開催頻度、試合や披露の場、参加費などについて説明を求める声がある。地域ごとに状況が異なるため、早急に素案を示した上で、保護者や団体と意見交換を行い、より良い制度設計に向けてブラッシュアップすべきではないか。

みき
三木 しんじろう 議員
(日本維新の会/中央区)



A ホームページでの情報発信や体験会の実施、各種競技団体向けの説明会などを通じて周知を進めており、3月下旬には第一次募集の登録団体について、種目や活動予定場所などの情報を公表する予定。保護者や団体からの意見を踏まえ、多様な活動に参加できる機会の確保に向けて取り組んでいく。

2月25日の代表質疑から

子育て支援のさらなる充実

Q 子育て支援制度で電子申請をする際、行政が持っているはずの情報を求められたり、申請後に職員から何度も電話で確認されるなど、子育て中の親の負担になっている。負担軽減のために、親子の基本情報をマイナンバーや母子手帳と紐づけるなど、DXを加速させる必要がある。行政側も支援制度の利用状況や子育て世帯が抱える課題を把握することができ、その解決に向けた施策にもつながると考えるがどうか。

なんの ゆうこ 議員
(日本維新の会/東灘区)



A 本市の行政手続きについては、電子申請での入力項目が多いなど、問題点があることは認識しており、ご指摘を踏まえて抜本的に改善していく。

2月26日の代表質疑から

こどもの体験活動の充実

Q 自然や人に触れ、社会とかわる機会でもある体験活動は、こどもたちの成長に欠かせない教育活動である。近年、体験機会の格差が問題視されるなか、学校教育における体験活動は一層重要性が高まっている。活動の機会や質を充実させるためどう取り組んでいくのか。

ゆきお
かじ 幸夫 議員
(こうべ未来/西区)



A 体験活動については、神戸市教育振興基本計画においても重要施策の一つとして挙げているところ。各校において児童生徒の実態や意向などを的確に把握し、工夫していくことが何よりも重要だと考えており、こどもたちの可能性を広げる豊かな体験活動となるよう引き続き取り組んでいきたい。

2月26日の代表質疑から

大手企業への「KOBE◆KATSU (コベカツ)」 参画の働きかけ

Q 神戸市内の大手企業が持つメジャースポーツや文化面などのクラブチームに下部組織を設けてもらい、コベカツの活動団体として参画するよう働きかけてはどうか。また経済観光局や企画調整局なども企業への働きかけに協力すべきではないか。

ひらの しょうざん
平野 章三 議員
(無所属/垂水区)



A サッカーや野球などの社会人チームやクラブを持つ大手企業に対し、活動団体の掘り起こしの中で、積極的な働きかけを検討したい。普段から企業との付き合いがある経済観光局からも働きかけたい。



用語
説明

※1【新都市整備事業】
「住み」「働き」「学び」「憩う」という複合的な都市機能を備えたまちづくりを行い、住宅用地の供給と経済基盤の強化をはかるための産業用地の供給を計画的に実施する事業。

※2【国是（こくぜ）】
国家としての方針。

※3【医療型短期入所事業所に対する補助制度】
医療的ケア児者の受け入れを行った医療型短期入所事業所に対し、医療機関の診療報酬と障害福祉サービス等報酬との差額相当額を上乗せして助成。

※4【ケアライン119】
お年寄りや障がいのある方が、事前に登録した自宅の固定電話から緊急時に通報した場合に、消防と近隣の協力者の連携のもと速やかな救護を受けられる仕組み。

経済・観光

2月25日の代表質疑から

異常高温・少雨に対する農家支援

Q 2024年は異常高温や少雨のため葉物野菜が不作であったが、特に異常高温については今後も続く見込みである。遮熱や保湿といった対策が求められる中、必要な資本は決して安くはなく困っているという声を複数聞いており、神戸市として即効性のある農家への支援を考えていただきたい。

やました
山下 てんせい 議員
(自由民主党/西区)



A 異常高温により、葉物野菜が発芽しない、生育不良などの影響を受けており、高温障害対策の検討が必要である。今後も異常高温が続くことを視野に入れ、県・JA兵庫六甲とも連携し、高温耐性のある種苗や資材の効果検証を十分に行いながら、有効な対策を検討していきたい。

2月25日の代表質疑から

空港島の活性化

Q 神戸空港国際化を控えた今こそ絶好の機会と捉え、民間投資の誘引を図っていくべきである。都心に近い立地を活かし、インバウンドの目玉となるような施設など、市民や国内外からの旅行者の目的地となる魅力的な施設を、空港島に創出すべきと考えるがどうか。

みぶ じゅん
壬生 潤 議員
(公明党/垂水区)



A 空港島は臨海部に残された貴重な土地であり、戦略的に利活用を進めていく必要がある。都心三宮やウォーターフロント、ポートアイランド2期などとも連携しながら、民間投資の誘発を図り、目的地として訪れてもらえる魅力あるまちとなるよう戦略を策定し、機を逃さず企業誘致に努めていきたい。

2月26日の代表質疑から

市営地下鉄海岸線の活性化

Q 開業以来、赤字が継続し、国内地下鉄最大赤字路線と言われる市営地下鉄海岸線の収支改善のため、ヴィッセル神戸と連携し、選手による車内アナウンスや市営地下鉄SNSへの登場、車両ラッピングなど活性化策を推進してはどうか。

うえはら
上原 みなみ 議員
(無所属/北区)



A 選手による車内アナウンスについては、イベントPRやマナー啓発などで実現に向けて検討したい。クラブ創設30周年を迎えるヴィッセル神戸と連携し、海岸線の活性化や沿線のにぎわいづくりに取り組む。

2月26日の代表質疑から

神戸空港国際化を踏まえた観光誘客

Q 手ぶら観光の推進について、神戸の地理的な特性、慣れない公共交通の利用やポートライナーをはじめとするキャバシティの問題から、有馬温泉のような郊外観光の拠点と神戸空港との間で荷物を配送できるようにすべきではないか。

むらかみ たつま
村上 立真 議員
(無所属/兵庫区)



A 神戸空港の第2ターミナルで新たに実施するサービスでは、空港から有馬温泉を含む市内宿泊施設への配送を実現するとともに、市内宿泊施設から送った荷物を空港で受け取ることができるようにしたい。

行財政

2月25日の代表質疑から

県民緑税の神戸市への還元

Q 神戸市民や市内事業者が納める県民緑税は兵庫県全体の3割を超えているが、還元割合は2割程度である。森林・里山の再生による新たな都市ブランド創出にこそ県民緑税が活用されるべきと考えるが、県に対して、還元割合を高めるよう強く要望すべきではないか。

やました
山下 てんせい 議員
(自由民主党/西区)



A 県民緑税の導入当初は人工林の少ない本市には合わない面があったが、都市山防災林整備事業の創設で六甲山系の広葉樹林整備が可能となった。全体事業費の増額や対象エリア拡大、本市の都市緑化事業への支援を県に働きかけており、本市への還元割合が高まるよう引き続き積極的に要望していく。

2月25日の代表質疑から

補助金の適切な支出

Q 補助金の不適正支出について、2017年の9月議会で、市長は「補助金の検証を行っており、ガイドラインに基づき見直しの検討を行う」と答弁していた。しかしその後も、中小企業チャレンジ支援補助金や、障害者就労支援B型事業所の給付金などにおいて、不正があった。不正を根絶するためさらなる対策が必要と考えるがどうか。

かわぐち
川口 まさる 議員
(日本維新の会/灘区)



A 不正受給は許されない行為で、悪質な申請に対して刑事告訴を行うなど厳正に対処している。証拠資料によるチェックや、現地調査に加え、外部監査などを活用し外部の目も入れながら、今後も不正防止に取り組み厳正に対処する。

福祉・健康

2月25日の代表質疑から

しあわせの村のリニューアル

Q しあわせの村のリニューアルに向け検討を進めると聞いている。この機会に、村の理念や存在意義を念頭に置きながら、収益も確保しつつ持続可能な運営を実現するため、時代に適した施設の利活用や機能転換を含めた抜本的な見直しが必要と考えるがどうか。

みぶ じゅん
壬生 潤 議員
(公明党/垂水区)



A 社会情勢が大きく変わる中、村内施設に求められる役割が大きく変わってきていると認識している。利用者の実態調査を進めるとともに、事業者や有識者の意見などを踏まえ、村の魅力向上や持続可能な運営といった視点で、今後のしあわせの村全体のあり方について抜本的に検討していきたい。

未来都市創造に関する特別委員会
市民報告会を開催します

2024年度に当委員会では、「子育て世帯に選ばれ住み続けたいまちづくり」をテーマに調査を行いました。

市民報告会では、委員会の活動内容を市民の皆さんに報告するとともに、報告内容に関する皆さんの質問に議員がお答えします。ぜひ、ご参加ください。

日時 2025年5月22日(木) 18:00～
場所 市会本会議場
定員 204名(議員席64席、傍聴席140席)
※先着64名が議員席

2月26日の代表質疑から

市民の暮らし・命を守る施策の推進

Q 今、神戸市に求められているのは、市民の暮らしを守り、賃上げや市民負担の軽減など、住民福祉の増進に力を尽くすことである。震災から30年続く、大型開発には放漫財政、市民には緊縮財政という予算編成の根本的転換が必要ではないか。

あじくち
味口 としゆき 議員
(日本共産党/灘区)



A 都市の成長を促し、神戸経済の活性化につなげるために大型プロジェクトを推進するとともに、子育て世帯や中小企業支援など、暮らしの質を高め、誰もがゆとりをもった生活ができるようさまざまな施策を充実させている。今後も神戸の将来を見据えてバランスのとれた施策を展開し、持続可能な自治体経営を行っていく。

2月26日の代表質疑から

さまざまな障がいを持つこどもの親の支援

Q こどもの発達相談の待機日数が約2カ月に短縮され、親の不安解消という観点から評価している。また、医療的ケア児者に対応できる医療型短期入所事業所の体制確保のために、新たに市独自助成制度を設けるとのことだが、見込まれる効果について伺いたい。

かわうち きよなお
川内 清尚 議員
(こうべ未来/垂水区)



A 医療型短期入所事業所に対する補助制度(※3)は、人材の離職を防ぎ、新たな雇用のきっかけとなり、利用者数の増加につながるものと考えている。事業者には制度の目的・趣旨を丁寧に伝え、活用いただくことで、受け入れの充実を図り、医療的ケア児者や保護者、介護者の支援の体制づくりに努めていきたい。

2月26日の代表質疑から

単身高齢者などの救える命を
守るための緊急時通報支援

Q 神戸市で運用しているケアライン119(※4)は、固定電話から離れたところで転倒や発作が起きた場合は役に立たず、他の政令市に比べても、この分野は遅れている。今後、超高齢社会がますます進展する中、単身高齢者の救える命を守り、安心安全な生活が送れるよう、どのように取り組んでいくのか。

むらの せいいち
村野 誠一 議員
(新しい自民党/須磨区)



A 時代に見合った緊急通報制度について、民間委託か直営か、身につけることが可能な通信機器を含め、どのような手法を導入するのか、運営経費や利用者負担の問題など、検討すべき課題も多くあると考えており、サポートをどのように行っていくか研究していきたい。



申込 5月1日(木)～16日(金)

質問を希望される方は、事前申込の際に登録をお願いします。

詳細はこちらから→



予算特別委員会の質疑から

予算特別委員会では、令和7年度当初予算および関連議案について審査しました。委員会は、2月26日に設置され、2月27日から3つの分科会で局ごとに審査した後、3月13日には総括質疑を、3月27日の本会議では市長に対して要望を行いました。議員名(会派届出名の略称、選挙区)

予算特別委員会
議員62名で構成
委員長 高瀬 勝也
副委員長 山口 由美
大井 としひろ
まつもと のり子

録画映像は
神戸市会ホームページで
ご覧いただけます。→



神戸市会 中継 | 検索

3月13日

3月13日の予算特別委員会から

神戸空港の国際化を踏まえた観光施策

Q 神戸空港が単なる通過点にならず、観光客に神戸に滞在してもらえる取り組みとして、ナイトタイムエコノミー(※1)を強化すべきと考える。令和7年度予算案では期間限定のコンテンツが多いが、花火の毎週末開催や夜景を楽しむ遊覧船の航行などを検討してはどうか。

ひらい まちこ
平井 真千子 議員
(自由民主党/長田区)



A 2025年度も毎月2回の神戸港ウィークエンド花火を実施するほか、海から夜景を楽しめるナイトクルーズなど、民間事業者とも連携し、さらなる魅力的なコンテンツの造成に取り組んでいきたい。

3月13日の予算特別委員会から

バス停における上屋の整備

Q 近年の猛暑により直射日光や雨風をしのげる上屋の重要性が増している。待ち時間を快適に過ごせる環境整備は利用者の満足度向上につながり、市バスの利用促進や乗客増加に寄与するものであり、より具体的な整備計画を策定すべきと考えるがどうか。

ほそや のりよし
細谷 典功 議員
(公明党/垂水区)



A 炎天下における日陰の重要性は高まっており、利用者の多い停留所などから上屋の整備を進め、823カ所整備済。3カ年計画で15カ所を整備中である。2026年度以降、よりこの整備を加速していきたい。

3月13日の予算特別委員会から

医療MaaS(※3)の導入

Q つくば市では障がい者の自立支援に向けた医療MaaSの実証実験を行っている。全ての人が必要ときに必要な場所へ移動できる社会の実現に向け、神戸市でも医療MaaSを導入する必要があるのではないか。

きど
木戸 さだかず 議員
(こうべ未来/須磨区)



A 本市において医療MaaSを実現するには多くの課題があると思われるが、例えば二次元コードによる企画乗車券を万博で発売するなどデジタル化が進められている。つくば市の実証実験の状況や新サービスの開発動向に留意しつつ研究を続けたい。

3月13日の予算特別委員会から

大阪・関西万博を契機とした観光誘客

Q 万博を契機とした観光誘客は、ターゲットを絞った効果的な戦略が必要。ひょうごフィールドパビリオン(※2)には市内44件のプログラムが登録されているが、神戸市のホームページでは詳細が分りにくく、魅力が伝わらない。県と連携し、プログラムへの誘導を積極的に行うべきではないか。

すみもと
住本 かずのり 議員
(日本維新の会/須磨区)



A 観光公式サイトFeel KOBEに万博特集ページを設け、姫路市と実施する観光誘客キャンペーンの発信や県の特設ページへの誘導など、県と連携した情報発信に努める。

3月13日の予算特別委員会から

大型開発には放漫財政、 市民の暮らしには緊縮財政の予算編成

Q 長期にわたる経済の停滞、異常な物価高騰の折、市民の生活と安全に直接かわる施策には緊縮財政を強いながら開発には異常な放漫財政を行っている。この予算編成のあり方は改めるべきではないか。

あかだ
赤田 かつのり 議員
(日本共産党/垂水区)



A 子育て支援策の拡充や中小企業支援など、物価高対策も含めて目の前の課題にしっかり対応するとともに、都心の再整備や郊外のリノベーションなど、神戸の将来を見据えたプロジェクトを進め、持続可能な自治体経営を行うための予算を編成したと考えている。

用語説明

- ※1 【ナイトタイムエコノミー】
18時から翌朝6時までの夜間の経済活動のこと。
- ※2 【ひょうごフィールドパビリオン】
地域そのもの(フィールド)をパビリオンとして魅力を発信する、県内各地の地元の人たちがつくる体験プログラム。
- ※3 【医療MaaS (Medical Mobility as a Service)】
交通と医療などとのサービスの連携により、検索・予約・決済などを一括で行うものであり、移動の利便性を向上させるもの。

質疑した他の議員(総括質疑)

かわや しんじ
香川 真二 議員(つなぐ/西区)

うえはら
上原 みなみ 議員(無所属/北区)

おくだ
岡田 ゆうじ 議員(新しい自民党/垂水区)

むらかみ たつま
村上 立真 議員(無所属/兵庫区)

ひらの しょうざん
平野 章三 議員(無所属/垂水区)

要望事項

3月27日の本会議で、高瀬 勝也予算特別委員長から、市長に対し要望を行いました。

●安全・安心なまちづくり

総合防災訓練に加え宿泊を伴う訓練など実質的な訓練を実施し、課題を洗い出すとともに、現状手書きで行われている避難所受付について、迅速かつ効率的な避難のためにスマートフォンを活用するなど、DXを図られたい。

●森林・里山整備

森林関係施策をより積極的に進めていくために、県に対して県民緑税の神戸市への還元割合を高めるよう強く要望されたい。また、森林・里山整備にあたっては、市民理解が得られるように広報・啓発を行い、取り組みの見える化を進められたい。

●部活動の地域移行

KOBE◆KATSUについては、全ての生徒が、地域的あるいは経済的な事情などにかかわらず、希望する活動ができるよう格段の配慮を行われたい。また、中学校の体育館を地域スポーツの拠点に準ずるように位置づけ空調整備を進めるなど、必要な支援などを行われたい。

●子育て支援策の拡充

病児保育の空き状況と対応可能な病気の情報をウェブ上で一覧にした上で、予約まで完結できるシステムを構築するとともに、各区で利用できるように病児保育施設の整備を進められたい。また、ひとり親就労支援プログラムを実施し、就職から就業後のフォローまで伴走支援を行い、離職率の軽減を図られたい。

●障がい者支援の強化

障がい児の障害福祉サービスに関する計画について相談の充実を図るため、障害者相談支援センターの役割強化に努められたい。また、医療的ケア児を在宅で介護している家族の負担を和らげるため、医療型短期入所の受け入れ体制の強化に努められたい。

●交通環境の改善

誰もが快適にバスを待てる環境を実現するため、市バスのバス停への上屋設置を加速させるとともに、民間バスの上屋整備補助事業についても、市が地域のニーズを積極的に事業者へ伝え、迅速に進められたい。

一般質問

3月28日の本会議で、議員がそれぞれの立場・観点から、市政一般について市長・副市長などに質問しました。

議員名(会派届出名の略称、選挙区)

おおの ようへい
大野 陽平 議員(自由民主党/東灘区)

①次期基本計画などの策定と今後の施策について

②部活動の地域移行を踏まえた学校教育について

③六甲アイランドの魅力向上について

④市街地消防団と地域防災力の向上について

⑤カラスやハトへの餌やり規制について

あさい みか
浅井 美佳 議員(自由民主党/灘区)

①新たな国際都市の実現について

②未来を担うこどもたちの教育環境の向上について

③避難所DXと効果的な情報発信について

④路上喫煙対策の強化について

けいいち
のまち 圭一 議員(日本維新の会/中央区)

①市営地下鉄民営化と外郭団体の見直しについて

②プロポーザルに関する地元企業優先の見直しについて

③投票率向上の取り組みについて

④元町地区の防災対策について

さとう まちこ 議員(日本維新の会/垂水区)

①神戸市の教育方針について

②災害対策について

③神戸市の広報について

④遊休地の利活用について

すがの よしのり
菅野 吉記 議員(公明党/兵庫区)

①物価高対策について

②市営住宅における単身困窮者の申込資格について

③ハラスメント対策における訪問費用補助の要件緩和について

④ペット合葬墓について

⑤地下鉄海岸線の乗客増対策について

⑥災害用井戸の取り組みについて

あさくら こ
朝倉 えつ子 議員(日本共産党/北区)

①非核神戸方式について

かずゆき
よこはた 和幸 議員(こうべ未来/中央区)

①犯罪被害者支援について

②闇バイトについて

③こどもの視力低下対策のための外遊びについて

④虐待を受けたこどもたちの心のケアについて

⑤防災庁の誘致について

⑥公務員の倫理観について

録画映像は
神戸市会ホームページで
ご覧いただけます。→



3月28日